

未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～
(兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画を策定しました)

兵庫県社会福祉士会 会長 岡本 和久

陽春の候、会員のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今年も美しい桜が咲き、新しい春を迎えました。今春、社会福祉士に合格されたみなさま、本当におめでとうございます。本会に入会いただいたみなさまをこころより歓迎いたします。

本会は、1993年7月に日本社会福祉士会の兵庫県支部として発足し、当初100名にも満たない小さな職能団体として活動を始めました。2009年4月に一般社団法人兵庫県社会福祉士会として法人格を取得し、2016年度は発足から23年目を迎えます。今日では16の専門委員会と7つの地区ブロック、福祉相談センター「ここねっと兵庫」を組織化するとともに、高齢者虐待対応研修や「JR西日本相談センター事業」へ相談員を派遣、今年度は新たに「障害者差別解消相談センター」への相談員の派遣など、行政等から公的な事業を受託し、公益性の高い運営を展開しています。

また、「まちかど相談会」や各種研修、社会福祉セミナー等を通じて地区ブロック活動を展開し、県民の福祉向上に寄与し、県民や行政等から本会への期待は年々高まってきています。しかし、一方で、社会福祉士資格取得者の組織化率は年々低下し、現在では16%台へと低迷しています。

このような状況の中、さらに本会の発展を中・長期的観点から取り組む必要があるとのことから昨年度「兵庫県社会福祉士会・5カ年発展計画策定会議」を設置し、会員アンケートや地区ワークショップ、パブリックコメント等を実施し、1年間かけて「兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画」の策定に取り組んできました。

この度、会員のみなさまの貴重なご意見等を踏まえ、計画策定ができましたので、会員のみなさまに、ぜひご覧いただきたいと思っております。(詳細は別冊をご参照ください)

目標「利用者の自己実現と地域の社会福祉を推進する専門職団体(社会福祉士会)」

3つの柱(重点目標)

1. 社会福祉士としての資質向上を支援する
2. 地域貢献(公益性の増進)に寄与する
3. 会員数を拡大する(2000名)

もちろん、計画の策定はゴールではなく、これから5年後の本会の姿を目指して、様々な事業や会員サービスの向上等に取り組むための新たなるスタートです。

このため、今年度は新たに「組織力向上戦略会議(仮称)」を設置し、本計画の具体的な企画検討と推進を行ってまいります。会員のみなさまにも会議への公募やアンケート等を行いますので、引き続き、ご協力のほどお願いいたします。

本計画をもとに、本会の5年後のさらなる発展に向けて、みなさまと一緒に活動していけることをこころより願っております。

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画（資料1）

（未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～）

主旨・目的

- 兵庫県社会福祉士会は、1993年7月に結成し、今年23年目を迎えた。
- この間、2009年4月に一般社団法人格を取得するとともに、会員数も1450名を超える大きな組織へと発展、今日では16の委員会及び相談支援センター「ここねっと兵庫」、生涯研修センターを設置している。
- また、「まちかど相談会」や各種研修、セミナー等を通じて地区ブロック活動を展開し、県民の福祉向上に寄与し、県民や行政等から本会への期待は年々高まってきている。



「兵庫県社会福祉士会・5カ年発展計画」(2016～2020年)

- 本会の発展を中・長期的観点から取り組む必要があるため「兵庫県社会福祉士会・5カ年発展計画」の策定(2016～2020年)に取り組む。

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

兵庫県社会福祉士会のこれまでのあゆみ①

- 1989年2月 第1回社会福祉士国家試験
- 1993年7月 兵庫社会福祉士会発足(会員数58名)/会長に岡田誠氏
- 1994年1月 機関紙「ひよこ通信」第1号発行(年4回)
- 1994年7月 第2回近畿ブロック研修大会(神戸市生活学習センター)
- 1995年1月 阪神・淡路大震災・宝塚市等で救援活動
- 1995年4月 復興本部設置(神戸市西区の仮設団地で被災者支援活動)
- 1996年2月 第1回兵庫社会福祉セミナー開催(ユニピアささやま)
- 1998年3月 研究誌「兵庫社会福祉士」創刊号〈震災復興と社会福祉士〉発刊
- 1999年12月 会員数300名記念(ひよこ感謝の集い)
- 2003年6月 第11回・全国大会(ポートピアホテル)会員数650名
- 2004年8月 権利擁護センター「ぱあとなあ兵庫」設立
- 2005年5月 春日野作業所(事務局)を借り上げる
- 2007年4月 「ひよこ通信」第50号発行(年4回)
- 2007年7月 在宅高齢者虐待対応専門職チーム発足
- 2007年12月 結成15周年記念(会員数1000名)
- 2008年6月 三宮事務所を借り上げる(事務局移転)
- 2009年4月 一般社団法人化(会員数1128名)
名称を「兵庫県社会福祉士会」に改称

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

兵庫県社会福祉士会のこれまでのあゆみ②

- 2010年6月 第2回総会開催/会長に土谷長子氏
- 2010年10月福祉相談センター「ここねっと兵庫を開設」
- 2011年1月 兵庫県福祉センター内に事務局を開設
- 2011年4月～2012年3月
東日本大震災で救援活動(宮城県南三陸町・岩手県大槌町・陸前高田市など)
- 2011年5月 JR西日本相談センター事業(福知山線脱線事故の被害者への支援事業)への協力
- 2012年3月 第13回兵庫県総合リハビリテーションケア研究大会(神戸市)
- 2012年4月 生涯研修制度(基礎研修Ⅰの開始)/会員数1300名
- 2013年4月 生涯研修センターを開設、兵庫県居住支援事業を受託
- 2013年6月 結成20周年記念(会員数1400名)
兵庫県から感謝状を授与される
「ひよこ通信」から「こうのとりの通信」へ改称
- 2013年8月 生活困窮者自立支援モデル事業への協力
- 2014年6月 第10回総会開催/7月 会長に岡本 和久氏
- 2014年11月～2015年2月 丹波市水害への被災地支援
- 2015年6月 兵庫県社会福祉士会・5カ年発展計画策定会議の設置
- 2015年7月 ソーシャルワーカーデーINひょうご(SW5団体共催)

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

会員アンケート(94名)

委員会等アンケート

ワークショップ(43名)
【丹波・阪神・西はりま】

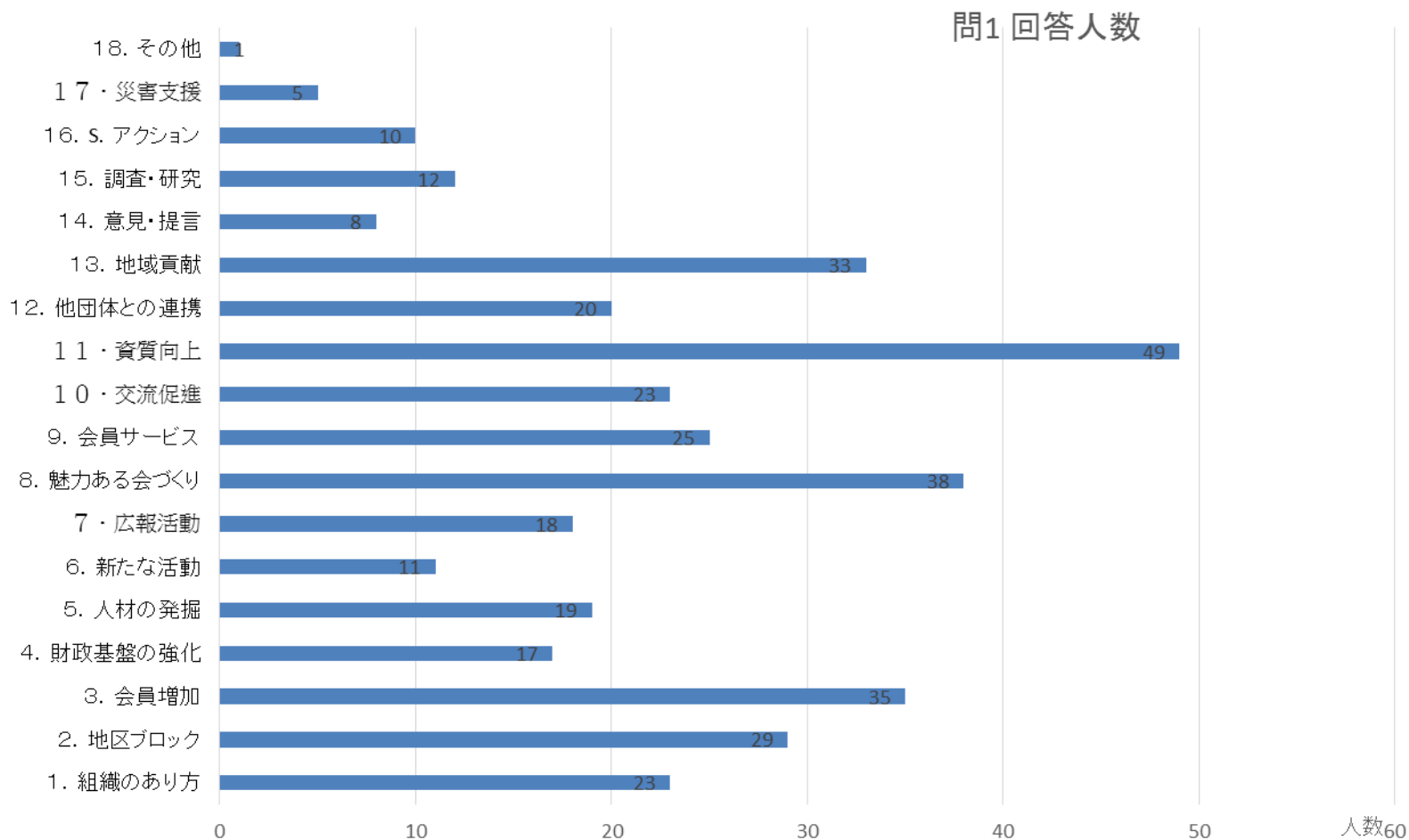
◎会員・委員会等の意見による兵庫県社会福祉士会の課題における優先順位

- ①社会福祉士の資質向上(生涯研修の充実、キャリアパス)
- ②魅力ある会づくり(非会員へのアプローチ)
- ③会員の増加・退会者の防止(組織率の向上)
- ④地域貢献・社会貢献(人材の発掘・活用含む)
- ⑤地区ブロック活動の活性化
- ⑥会員へのサービス向上(会員の交流促進を含む)
- ⑦広報活動の充実
- ⑧組織のあり方・強化(理事会・委員会)
- ⑨事務局体制の強化

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画 (未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

◎会員アンケート結果(94名複数回答) 2015年7月～8月実施

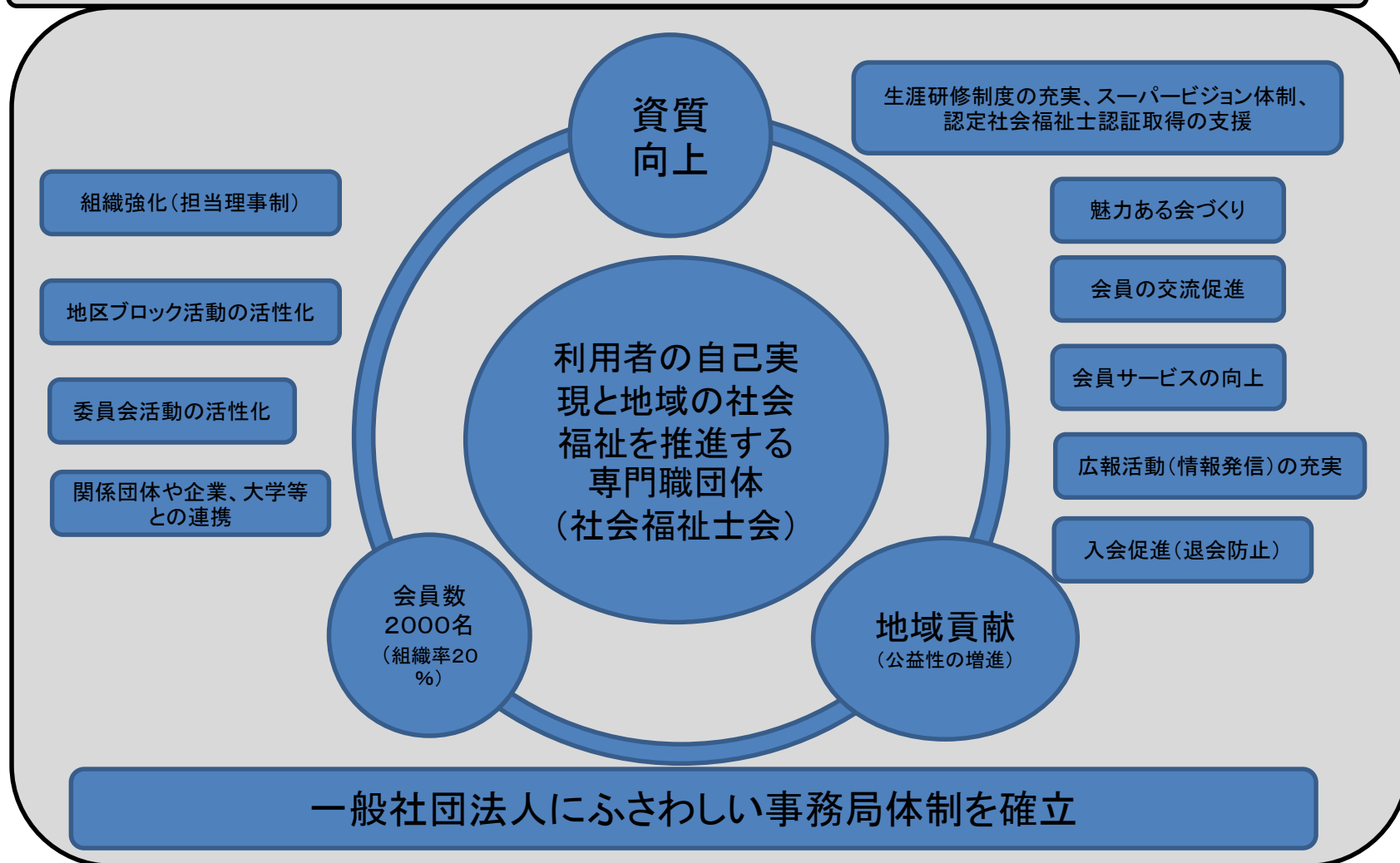
質問番号



兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

2020年 兵庫県社会福祉士会の姿(ビジョン)



兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

1. 生涯研修(資質向上)の状況

現状

- ①基礎研修Ⅰ～Ⅲ、スーパービジョン体制の実施
 - ②認定社会福祉士の分野別専門研修の検討・準備
 - ③認定社会福祉士以外多様な研修の開催
- ⇒2012年度より基礎研修を実施。(現在43名の方が基礎研修Ⅲを修了)
スーパーバイザー登録3名(受講10名)分野別専門研修の開催準備

課題

- ①スーパーバイザーが不足している。分野別専門研修を開催できていない
- ②認定社会福祉士を目指さない方への研修メニューが少ない
- ③研修によっては参加者が少ない
- ④神戸・阪神地区以外の研修が少ない

目標(2020年)

- ①スーパーバイザー60名に対応するスーパーバイザー登録を20名確保
- ②分野別専門研修を5分野で開催(高齢・児童・障がい・地域・医療)
- ③研修に参加しやすい環境整備(研修クーポン、システム活用、託児サービス等)
- ④多様な研修の開催(身近な地区ブロックでの研修やメニューの充実)

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

2. 魅力ある会づくりの状況

現状

- ①他の専門職団体との連携(地域包括支援センター三職種団体連絡会、弁護士会、司法書士会との相談会や勉強会、プライマリーケア協議会、兵庫県リハビリテーション協議会、精神科病棟転換型施設を考える会)
- ②ソーシャルワーカーデーの開催(SW関連5団体との共催)
- ③近畿ブロック府県士会との連携(研修会、代表者会議、部会への参画)

課題

- ①非会員への入会アプローチができていない
- ②ソーシャルアクションや提言活動ができていない

目標(2020年)

- ①非会員へのPRや入会促進(入会促進キャンペーンの実施、再入会者は入会費を免除)
- ②ソーシャルワーカーデー以外の分野でのSW関連5団体の連携強化(共催研修の開催、会費の減額、MSW関連委員会の設置)
- ③ソーシャルアクションや提言活動を行うための仕組みの検討

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

3. 会員の状況

現状

- ①会員数 1459名(2015.9現在)※全国39,209名
 - ②組織率 16.4%(登録者数8932名)※全国20.7%
- ⇒会員数は毎年120名程度増加する一方、80名程度退会している。
組織率は年々低下している。

課題

- ①会員数をいかに増やしていくか(入会促進の取り組み)
- ②退会者をいかに減らしていくか(退会防止の取り組み)

目標(2020年)

- ①会員数2000名以上、組織率20%以上の増加を目指していく
(年間150名以上の入会を目指す。入会促進キャンペーンの実施、養成校との連携や高校生等へのアプローチ等)
- ②退会者を年間50名未満に減らす(会のメリットを実感してもらう)

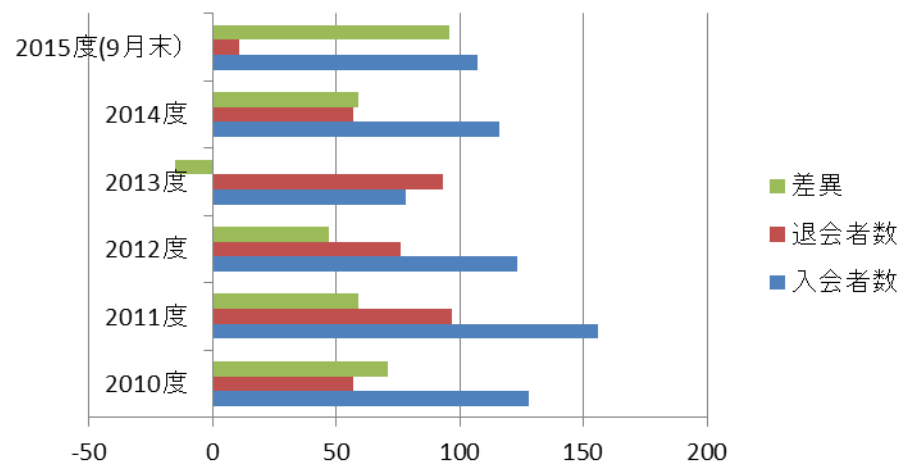
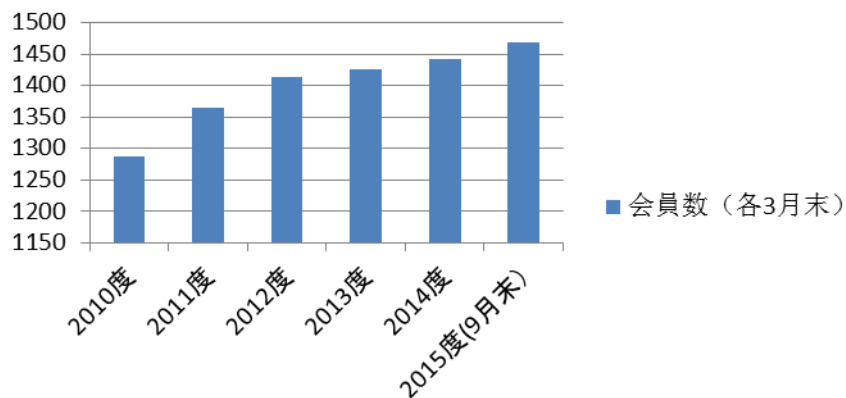
兵庫県社会福祉士会2020・5力年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

3. 会員の状況(入会状況)

	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	2015度(9月末)
入会者数	128	156	123	78	116	107
退会者数	57	97	76	93	57	11
差異	71	59	47	-15	59	96
会員数(各3月末)	1287	1364	1413	1425	1442	1459

会員数(各3月末)



◎毎年度120名程度入会している一方で、80名程度の方が退会している。

兵庫県社会福祉士会2020・5力年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

3. 会員の状況(退会状況)

図1 性別退会者数

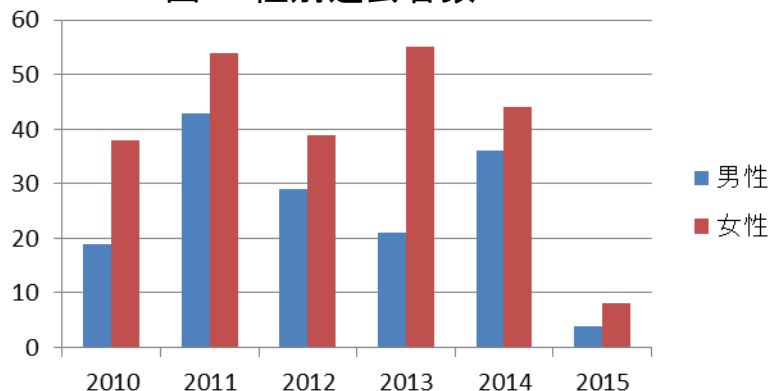
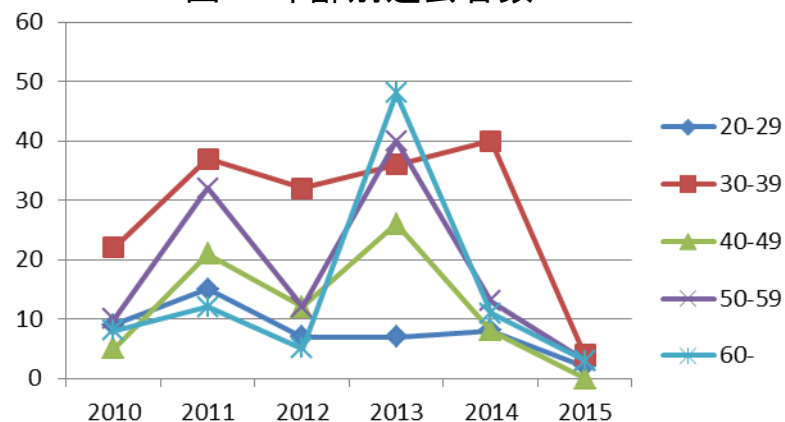


図2 年齢別退会者数



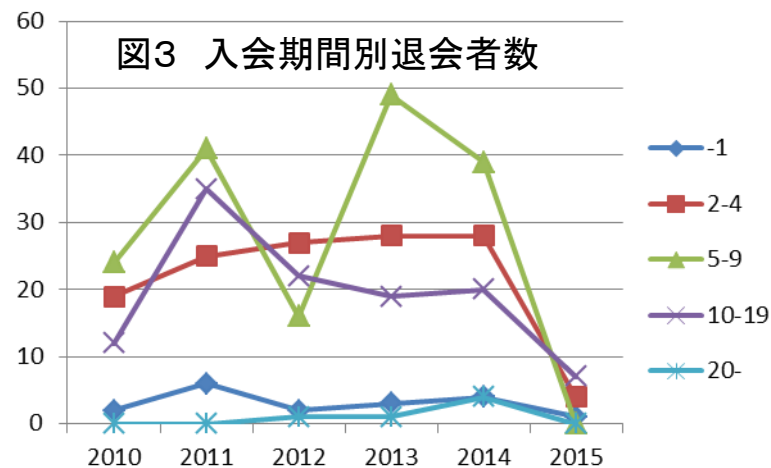
(退会者の分析)

- 性別では概ね1:2で、女性が多く退会している。
- 年齢別では30代と50代が多く退会している。
- 入会期間では5～9年が最も多く、続いて2～4年が多い。

(主な退会理由)

- 業務が忙しく、研修等に不参加が多くなり、会費に見合う活動ができない。入会のメリットがない。
- 会費の負担が大きい。夫婦で入会すると会費が高い。
- 退職(出産、育児含む)、職種が変わった。
- 研修等に魅力を感じない。専門分野(児童、障がい等)の研修がない。
- 活動方法が分からない。ブロック活動が物足りない。

図3 入会期間別退会者数



兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

4. 地域貢献・社会貢献の状況

現状

- ①地区ブロックによる「まちかど相談会」の開催
- ②相談センター「ここねっと兵庫」の設置(なんでも相談会)
- ③専門講師の派遣(高齢者虐待対応チーム、権利擁護110番等)
- ④各種委託事業の受託(JR相談センター、居住支援、コミュニティ支援アドバイザー、高齢者虐待研修)
- ⑤災害支援(東日本大震災等への被災者支援、災害支援金への寄付)

課題

- ①相談が少ないなど県民や地域に見える活動が十分にできていない
- ②専門的な人材を派遣できる体制ができていない

目標(2020年)

- ①相談機能の強化(ここねっと兵庫の充実、PR、SWDの継続)
- ②人材バンクの設置(専門講師の派遣)
- ③各種委託事業の拡大
- ④災害支援体制整備(災害支援委員会、マニュアル、災害支援員の養成)
- ⑤制度のはざまにある人への支援(生活困窮者、刑余者、未成年後見等)

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

5. 地区ブロックの状況

現状

- ①7地区ブロック制(神戸・阪神・東播・西はりま・丹波・但馬・淡路)
- ②主なブロック活動(総会、研修、まちかど相談会、社会福祉セミナー等)

課題

- ①地区ブロックにより活動にばらつきがある
- ②新入会者向けのイベントができていない
- ③活動資金や担い手が不足している
- ④本会との関係が十分でない(理事会を通じての関係)

目標(2020年)

- ①地区ブロックの活性化(助成金の増額、理事等のアウトリーチによる人的交流の促進、地区ブロック相互の交流、地区ブロック(担当理事)会議)
- ②新入会者向けイベントの開催(研修キャラバン隊の派遣)
- ③定期的な集まり(集い場づくり)
- ④社会福祉セミナーなど地域での研修の開催

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

6. 会員サービスの向上の現状

現状

- ①会費16000円(日本へは5000円送金)
- ②研修は会員価格(2/3～半額程度)で受講できる
- ③委員会や地区ブロックに参加できる
- ④会員ネットワークが拡大する
- ⑤最新情報が入手できる(HP、SNS、メーリング、通信等)

課題

- ①会員名簿がない(会員と知り合う場が少ない)
- ②委員会活動の情報が得にくい。委員会に参加しにくい。
- ③研修や委員会等の申込がHPやメールではできない
- ④会費が高い(他団体と重複して加入している人も多い)

目標(2020年)

- ①会員同士の交流の場づくり(集い場や交流会、納涼会、忘年会等)
- ②委員会情報の共有(HPへの掲載、HPから申込、委員会パンフ作成等)
- ③委員会へ入る仕組みの構築(新入会時や新年度ごとに案内)
- ④会費の減額(他団体との割引、研修クーポンや図書割引券等の配布)
- ⑤会員への有益な情報提供(会員限定の研修情報や職業紹介など)
- ⑥支援者への支援(支援者へのアドバイザー制度、よろず相談コーナー)

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

7. 広報の状況

現状

- ①機関誌「こうのとりの通信」の発行(年4回)
- ②広報誌「兵庫県社会福祉士会」の発行(1～4号)
- ③ホームページおよびフェイスブックの開設
- ④ひよこメーリングリスト及び委員会等メーリングリスト

課題

- ①会の活動や研修が会員外には広がっていない
- ②ホームページを通じて研修等の申込ができない
- ③ホームページの更新を定期的に行う必要がある

目標(2020年)

- ①ホームページをリニューアルし、使いやすくする(委員会情報の掲載や研修等の申込など)
- ②メーリングリスト及びフェイスブックの登録者を増やす(900名)
- ③本会のチラシやパンフレットを作成する
- ④地区ブロック活動の広報(地区ブロック広報紙、ホームページ、ブログ)

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

8. 組織状況

現状

- ①理事会(17名)※立候補理事10名、地区ブロック推薦7名
- ②委員会(16委員会)
- ③地区ブロック(7地区ブロック)
- ④その他(生涯研修センター、ここねっと兵庫)

課題

- ①委員会活動をいかに活性化していくか
- ②本会のミッションを明らかにしていく必要がある
- ③多くの会員がかかわる組織としていく必要がある

目標(2020年)

- ①多くの会員が会に関わる仕組み(青年部会、活動の参加者1割⇒2割)
- ②公益社団法人化の検討
- ③委員会活動の活性化(ぱあとなあや各委員会活動の充実)
- ④組織規程の整備

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画

(未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～)

9. 事務局状況

現状

- ①事務局体制(事務局長、事務局次長、事務局員、パート5)
⇒2013年度より事務局長を配置、2014年度よりパート3人配置、2015年度よりパート1人増員するなど、徐々に体制を強化してきている

課題

- ①委員会活動やソーシャルワーカーデーなどの業務の増加
- ②入会事務や名簿管理等を日本社会福祉士会に委託している

目標(2020年)

- ①事務局体制の強化(人員体制の強化や処遇面の改善)
- ②入会事務や名簿管理等を本会で担う体制づくり(人員及びソフト導入)

兵庫県社会福祉士会2020・5力年発展計画(2016年度～2020年度)								
内容	5年後(2020年)の目標	事業項目	2015年度(現状)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
1. 社会福祉士の 資質向上	スーパーバイザー体制の構築	スーパーバイザーの確保(20名)	3名	13名	15名	17名	19名	20名
	スーパーバイザーへの支援	スーパーバイザーへの支援(60名)	10名	20名	30名	40名	50名	60名
	認定社会福祉士取得への支援	分野別特別研修の開催(大学との連携)	特別研修の認証(高齢者虐待)	高齢分野(高齢者虐待研修・成年後見養成研修)	高齢分野・児童分野	地域・医療分野	障がい分野	5分野開催
	研修に参加しやすい環境整備	研修クーポンの発行	研修クーポン等の検討					
		託児サービスの実施	託児サービスの検討					
	多様な研修の開催	身近な地区ブロックでの開催		研修ニーズの調査	新たな研修メニューの導入			
		ゼミナールの開催		ゼミナールの検討	ゼミナールの開催			
	基礎研修制度の確立	基礎研修修了生の活動の場づくり	基礎研修ファシリ、講師、セミナー講座	基礎研修OB会の検討	基礎研修OB会の設立			
	基礎研修実施体制の確立	生涯研修センター担当理事	基礎研修実施体制(講師の養成)	基礎研修部門の確立				
2. 魅力ある会づくり	非会員へのPRや入会促進	入会促進キャンペーン	入会申し込み書の発送(会員)	入会申し込み書の発送(会員)				
		会の財政基盤を強化する観点でみると、一定の研修事業を標準化させていく役割を担うべきものであり、認証研修、標準研修等を実施し、収益を上げていく、(収益を次の事業に活用するというNPOの考え方)方針を明確にしていきたい。	入会促進キャンペーン2015	入会促進キャンペーンの継続				
	SW関連5団体との連携強化	ソーシャルワーカーデーの開催	ソーシャルワーカーデーの開催	ソーシャルワーカーデーの継続				
		PSW、MSW、ケアマネ、介護福祉士会との連携	代表者会議の開催	SWD以外の共催研修の開催				
	近畿ブロック府県士会との連携強化	近畿ブロックとの連携	代表者会議、部会への参画					
	他の専門職団体との連携強化	弁護士会・医師会等との連携	高齢者虐待対応チーム、権利擁護110番					
	ソーシャルアクションや提言を行う	提言等を行う仕組みの検討		提言等を行う仕組みの検討	提言等を行う組織の構築			
	意見書の発信や官公庁への働きかけ							
3. 会員の増加	会員数2000名(組織率20%)を目指す	会員数の増加	会員数(1500名)	1600名	1700名	1800名	1900名	2000名
	入会者の促進(年間150名以上)	年間150名以上の入会促進	入会者数(120名以上)	150名以上	150名以上	150名以上	150名以上	150名以上
		組織力向上	組織力向上予算(100万円)	組織力向上予算の拡大				
			5力年発展計画策定会議	組織力向上会議の設置				
		社会福祉士会のPR						
		オリジナルグッズの作成	特製クリアファイルの作成	専用キャラクタの募集	専用キャラクターの活用			
		大学等との連携強化	養成校との連絡会、優秀学生表彰	養成校との連絡会、優秀学生表彰				
		高校生・中学生へのアプローチ						
		国家試験対策の充実	大学等での対策講座(3か所)	大学等での対策講座の拡大				
		合格者へのアプローチ	合格祝賀会の開催	合格祝賀会の継続				
	退会者の防止(年間50名未満)	退会防止策の検討	退会者(80名)	退会者(50名未満)				50名未満

4. 地域貢献・社会貢献	ここねっと兵庫の充実	相談件数の増加、PR						
	まちかど相談会の実施		地区ブロックでの開催					
	なんでも相談の実施		月1回開催					
	専門講師の派遣	人材バンクの設置		人材バンクの検討	人材バンクの設置			
	各種委託事業の拡大	新規事業の受託	高齢者虐待対応研修等の受託	高齢者虐待対応研修等の受託				
	災害支援体制の構築	災害支援委員会の設置	災害担当理事の設置	災害支援委員会の検討	災害支援委員会の設置			
	調査研究活動の充実	調査研究による地域貢献、ソーシャルアクション						
		研究誌「兵庫社会福祉士」の発行	研究誌の発行(年1回)					
	制度のはざまにある人への支援	生活困窮者、ホームレス等の人への支援	生活困窮者支援委員会					
		刑余者等への支援	更生支援委員会					
	虐待対応委員会(高齢者・障がい・児童)		虐待対応委員会の検討	虐待対応委員会の設置				
	権利擁護体制の構築	未成年後見(こどもPT)	未成年後見の検討(こどもPT)		未成年後見の実施			
5. 地区ブロックの活性化	地区ブロック活動の充実	助成制度の見直し						
		理事等のリーチアウト(人的交流)						
	新入会員への支援	新入会者向け説明会の開催	新入会向け説明会の実施	全地区ブロックでの開催				
	定期的な集まり	集い場づくり(地元で顔の見える関係づくり)						
	地区ブロックでの研修の充実	地区ブロック研修の開催						
6. 会員サービスの向上	会員同士の交流の場づくり	集い場の開催	東播地区での開催		全地区ブロックでの開催			
		交流会(納涼会、忘年会、懇親会)の開催	交流会(納涼会、忘年会、懇親会)の開催	交流会(納涼会、忘年会、懇親会)の開催				
	会員向けの子育て支援サービス	ワークライフバランス・子ども向けイベント				子ども向けイベント		
	委員会情報の共有	HPへの掲載、HPからの申込		HPへの掲載、HPからの申込				
		委員会パンフレットの作成		委員会パンフレットの検討	委員会パンフレットの発行			
	委員会へ入る仕組みの構築	新入会時や新年度ごとに募集						
	会費の減額	他団体との割引						
	会員への有益な情報提供	会員限定の研修情報						
		職業紹介情報の提供	ホームページ、メーリング					
	会員表彰制度の導入	会員表彰制度の構築	会長賞(実践報告)	会員表彰制度の検討	会員表彰制度の導入			
	支援者への支援	支援者へのアドバイザー制度		アドバイザーの養成の検討	アドバイザーの養成	アドバイザー制度の開始		
		会員のためのよろず相談コーナー			会員のためのよろず相談コーナー			

7. 広報の充実	ホームページのリニューアル	ホームページのリニューアル	企画中	リニューアル(4月)					
		委員会情報の掲載							
	メーリングリストやフェースブック登録者の増	登録者の増加を促進する	登録者数400名	500名	600名	700名	800名	900名	
	広報の充実	広報紙の発行	広報紙(5号発行)						
	複数メディアを積極的に活用	機関紙の発行(年4回)	機関紙の発行(年4回)	機関紙の内容充実					
	内外への情報発信	ツイッター等の活用							
		チラシ、パンフレットの作成							
	広報収入の増加	広告費収入を増やす							
	地区ブロック活動の広報	広報紙やブログによる広報							
	地区ブロックのホームページ								
8. 組織力の強化	多くの会員が会に関わる仕組みの構築	選挙制度の見直し	選挙ルールや実施方法の確定	新しい選挙制度の実施					
		青年部会の組織化		青年部会の設置					
	公益性の向上	公益社団法人の検討							
	委員会活動の活性化	各委員会活動の充実							
		地区ブロック、委員会との連携							
		ばあとなあ兵庫の強化	登録数350名	400名	450名	500名	550名	600名	
		委員会の参加者数の増(会員1割⇒2割)	150名程度	200名程度	250名程度	300名程度	350名程度	400名程度	
	組織規程の整備	組織規程の整備							
9. 事務局体制の強化	一般社団法人にふさわしい体制の構築	事務局体制の強化							
		処遇面での改善							
	本会で入会事務や名簿管理等の業務を行う	会員管理システム(ソフト)の導入			会員管理システムの導入				